

笠岡市議会 『維新の会』

井義明一郎
藤喜隆文
天藏隆忠
大月司義
田忠義

質問者
所属

平成26年度予算編成 にあたって

議員 ①平成25年度上半期の実施を踏まえた行政的課題、その対応についてたずねる。

②神島保育所建替えについて、県では新しいハザードマップが公表され、被害想定が示されている。本市としてはいつの時点で建設保留を解くのかたずねる。

議員

公有財産について
の管理について

②国や県の地域防災計画の見直しの結果を受け、その後の笠岡市地域防災計画の見直しの状況を踏まえ、市としての対応を内部で検討し、適切な判断をしていく

減少が顕著となつており、最大の行政課題である。今後は、現在行つてある子育て支援等の施策に加え、若者の働く場所を確保する産業振興の施策を一層推進していく、平成26年度では産業振興ビジョンの施策を具体化し、予算計上していかたい。

教育について

議員 ①昨年5月、教育審議会に学習や生活の場として望ましい学校規模の適正化について諮問し、本年11月から12月に答申を受ける予定ということであるが、複式の解消に向けての適正化となるのか、小学校区の再編も含めた適正化となるのかたずねる。

②ネット依存について学校としてどのような対策を検討しているのか。

②メデイアとのつき合い方を子ども達自身に考えさせることはないのか。

管理しており、行政上の目的・用途に供さない普通財産の貸付けについては原則として総務部財政課において管理している。貸付物件の基本的な維持管理については、借受人において行うこととなつてている。

②メディアとのつき合い方を子ども達自身に考えさせることはないのか。
区を中心に考えてはどうか。教育長 決して統廃合ありきの再編にならないよう見据えながら進めていきたい。

徳清会

秀三子
文順
栗尾聰
森越正
馬裕三郎
川東

質問者
所属

これから公共交通 (バスの運行)について

議員 ①公共交通の大切さとその維持について市民、

教育長 ①複式学級の解消に向けての適正化計画などまるごとなく、将来を見据えて学区再編成も視野に入れた適正化計画を策定していく。

②市民アンケート調査や現状で考えられる課題をもとに交通政策に取り組んでいくことはないのか。

市長 ①様々な機会を捉えて公共交通の現状や利用促進について広く市民に呼びかけ、また広域的な取組みとして、井笠福山圏域バス路線連携協議会との緊密な連携のもと、長期的、安定的な路線維持に努めながら利用促進方策についても検討したい。

②乗降調査を初め、沿線住民へのアンケート等を計画しており、その結果を踏まえて地域の実情に合った交通体系を検討していきたい。

②メディアとのつき合い方を子ども達自身に考えさせることはないのか。
市長 ①まちづくり協議会がNPO法人となつた場合の対応についてたずねる。

市長 ①本市では定住促進を最重点と位置づけ、平成21年度から定住促進ビジョンを策定し、各種事業を実施しており、社会動態には一定の成果が出てきているが、少子・高齢化の進展に伴い、自然動態による人口

議員 公有財産についてどうな管理をしているのかたずねる。

市長 公有財産のうち学校施設等のように行政上の目的・用途に供する行政財産の貸付け、または使用許可についてはその建物、土地等を所管する各担当部局が

②公共交通の大切さとその維持について市民、行政、そして事業者が自分達の役割の重要性を自覚して行動すること、当事者意識を共有することがもつと必要ではないか。そのための具体的な方策があるか。

市長 ①まちづくり協議会がNPO法人となつた場合の対応についてたずねる。

②まちづくり協議会がNPO法人となつた場合の対応についてたずねる。

市長 ①まちづくり協議会